

## リレー企画 <不思議な夢>

3 番目の語り手

矢澤洋爾



いやあ、ごめんなさい。遅れてしまいました。

あれっ？お話の途中じゃなかったですか？タイミング悪かったかな？ごめんね、遅れた上に悪いタイミングで顔出しちゃって。実は今朝ちょっと寝過ごしちゃって・・・。

布団から起きようとする僕と僕の布団の上で寝ていた猫と一緒に起き出した。猫はまだ寝起きで前足をうんと前に突き出してお尻を後ろに引き、う～んと背伸びを始めたんだ。その時だった、猫の前足の爪が僕の右の手のひら、小指の下の膨らんだところに横から突き刺さってしまったんだ。痛い！痛い！なんてもんじゃないよ。いっぺんに目が醒める。おい、猫よ、早く手をどけろよ！！左手で猫の前足をつかんで爪を抜こうとするが、爪はますます食い込むばかり。これは悪夢じゃないか。

おい！猫！いい加減にしろ！

あれっ？！猫って？名前なんだっけ？そもそも僕の家で猫なんか飼ってたかな？ああ、ここは S 夫人の家なんだ。S 夫人が飼っている猫なら大切にしないとイケないなあ。ああ、猫よ。いいよ、いいよ。爪が抜けなきゃしばらくこのままでもいいよ・・・ああ、だんだん痛みもなくなってきた・・・爪は突き刺さったままなのに・・・z z z z z

ああ、なんだ夢か。変な夢だったなあ。嬉しすぎるときに頬をつねって「夢じゃなからるか」ってやるけど、痛みを実感する夢なんて、変な夢だったなあ。

S 夫人はもう起きてるらしい。僕も起きよう。トイレにも行きたいし。ええ、トイレ、トイレと。確か部屋を出て廊下を右に曲がって、と。ああ、あった、あった。あれ何か朝顔がずいぶんと高いところについてるなあ。昨日もそうだったかなあ。あれ、こりゃあ届かないぞ。ああ、おしっこ漏れそう。でも僕のホースが届かないよお～！う～ん！もう駄目っ！！あ、また夢だ。

僕の隣にいるのは、うさおさんかな？うさおさん、次お願いします。